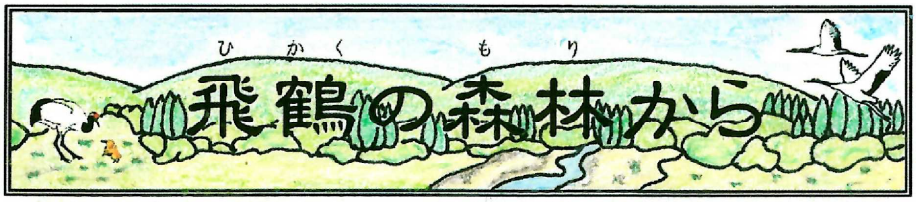

発行日
平成28年1月4日 第106号
林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林ふれあい推進センター

すて木なクリスマスボード

釧路市こども遊学館（釧路市幸町10-2）では、クリスマスツリー（本物のアカエゾマツ）やイルミネーションでクリスマスの飾り付けがされ、11月28日に、クリスマスツリー点灯式が行われ、12月にはクリスマス関連のイベントが数多く実施されました。

その中のひとつが、12月7日（土）に行われた、サンタさんが来てくれるかも？「すて木なクリスマスボード」です。

参加したのは、事前に申し込みのあった小学生の親子20組。

釧路湿原森林ふれあい推進センターは、森林で採取した松ぼっくり、どんぐり、トドマツのボードなど自然工作の材料を持ち込み、このイベントの協力をおこないました。

クリスマスの装飾といえば、緑の葉と赤い実がきれいなセイヨウヒイラギですね。

当センターが準備した松ぼっくり等は、全て乾物なので、色もぼ茶色系ばかりです。

緑色がほしくて、この時季でも入手可能なニオイヒバと地衣類のサルオガセの2点を用意しました。（人気はいかほどに。）

早速、「これ何ですか？」と緑色の2品への質問が結構あり、みなさん興味があるようです。

親子で材料を選び、（サルオガセが人気のようです。）デザインを考え、工具・ホットボンドで作業を進めていきます。

困った時は、お父さん・お母さんに少し手伝ってもらい、「すて木なクリスマスボード」が完成しました。

なお、参加者の中には、昨年に続いて2度目という親子もいて、お話を伺うと、当センターのイベントを楽しみにしているそうです。

完成したクリスマスボード
（緑の葉っぱがニオイヒバ）

北海道森林管理局からのお知らせ

林野庁北海道森林管理局では、国民の皆様に国有林の役割や現状等をご理解いただくとともに、国民の幅広い意見を把握し、国有林野の管理経営に役立てるため、平成28・29年度の「国有林モニター」を下記のとおり募集します。

募集人数	48名
依頼期間	平成28年4月から平成30年3月まで（2年間）
依頼内容	・国有林や森林・林業に関するアンケート調査への回答 ・モニター会議・現地見学会への出席（規定に基づき交通費支給） ・国有林の管理経営に関する意見・提言などの提出 ※林野庁や森林管理局の広報資料などを定期的にお送りします。
応募資格	北海道にお住まいで、国有林に関心のある満20歳以上（平成28年4月1日時点）の方。 ※国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長、常勤の国家公務員、林野庁OB、森林・林業担当の自治体職員及び平成26・27年度に国有林モニターであった方は除きます。
募集期限	平成28年2月26日（金）（必着）
応募方法	以下の必要事項をご記入の上、郵送・FAX・メールのいずれかの方法で、下記応募先までご応募ください。 ①氏名（ふりがな）、②性別、③住所（郵便番号）、④生年月日・年齢、⑤職業、⑥電話番号、⑦国有林モニターを知ったきっかけ（○○新聞、○○のホームページなど）、⑧応募理由（100字程度） ※応募いただいた個人情報は、国有林モニターに関する目的以外には使用いたしません。
選考結果	・平成28年3月末までに依頼状の発送をもってお知らせします。 ・選考結果に対する個別のお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承下さい。
その他	・アンケートの回答、ご意見、ご提言は匿名にて公表する場合があります。 ・モニターから提出いただいたご意見、ご要望に対して個別にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

現地見学会の様子

お問い合わせ先（応募先）
〒064-8537
札幌市中央区宮の森3条7丁目70番
林野庁 北海道森林管理局
企画課 国有林モニター担当
電 話 ： 011－622－5228
ＦＡＸ ： 011－622－5194
E-mail ： h_kikaku@rinya.maff.go.jp

はな♪ はな♪ はな♪

昨年のいつ頃からでしょうか。「〜はな はな はな・・・花咲く○○○」と歌声が流れる菓子メーカーのコマーシャルが始まったのは。

この曲、みなさんもご存じですよね。なぜか耳に残りませんか。CDも発売され、人気があるようです。

この曲もそうですが、この菓子メーカーの包装紙をデザインした坂本直行さんの画いた鮮やかな色彩の植物画もさぞ印象的でいすよね。

ある日、調べものがあり、古い書籍等を見ていると、見覚えのある画風のミズナラの葉っぱが目に飛び込んできました。

「あら、こんなところにお菓子の包装紙が。」と思ったのですが、よく見ると「帯広営林局のあらまし」と書かれています。

裏面には、帯広営林局の木材販売量、人工造林地の現況等が紹介されてお り、ところどころにタラノキなどの植物が緑色で画かれています。

製作年月日が書かれていないので、統計の数字に昭和3938年度が使用されたものでしょうか。

昭和年に作っ営林局等の広報紙やパンフレットもさることでしょうか。

雄阿寒岳など国立公園等に指定された阿寒湖と登山対象の山や阿寒湖を撮影した写真が表紙となっている写真絵葉書みたい な光景を撮影した写真絵葉書多くの観光みやげで売っている紋切り型が多いのですが、この「帯広営林局のあらまし」は一味違いますね。

画いてくれた坂本直行さんに感謝ですが、写真でなく絵を採用した帯広営林局もセンスがありますよね。

さて、北海道森林管理局の広報誌ですが、平成21年3月で終了して暫く経つのですが、何と！今月から発行することになりました。

誌名は「北の森林（もり）国有林」毎月、10日頃に北海道森林管理局のホームページに掲載されます。

北海道国有林の主な取組の他、釧路地方や当センターの話題が載ることもあります。是非ご覧ください。

※北海道森林管理局ホームページ
URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/

今後の予定

＊1月15日（金）
釧路湿原自然再生協議会
第26回 再生普及小委員会

＊2月3日（水）
第5回 雷別ドングリ倶楽部

＊2月4日（木）・5日（金）
北の国・森林づくり技術交流会

＊管内の自然情報の収集や情報提供を行っています。下記のホームページを随時更新しておりますので是非ご覧下さい。

国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
〒085-0825 北海道釧路市千歳町６番11
【IP】050-3160-5787【TEL】0154-44-0533【FAX】0154-41-7305
【E-mail】h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp
【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

当センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むＮＰＯ等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。